



順川 一田

Junichi Kawada

一チームだけ
ではなく、日本の
バスケトボール界
のために



朝日 JX BEANSさんは、長く女子バスケトボール部を支援されていますね。川田 日本鉱業の子会社であつた共同石油の企業内チームとして1969年に創設されました。その後会社の再編のため「ジャパンエナジー」「OMO」とチーム名が変わつていく中でも、女子バスケトボール部は存続し大きな足跡を残してきたチームです。朝日 エネルギー企業がスポーツを応援していく意義はどんなところにあるのでしょうか。川田 ワークを大切にしている企業だからこそ、団体スポーツを応援されているのでしょうか。川田 我が社はお客様に石油

特別対談 川田順一

「JXホールディングス株式会社副社長」 × 朝日健太郎 NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長

はだし文化新聞

No.3 2015 11 | 5

2015年11月5日発行(11月・6月・10月発行) 通巻 第3号
発行/NPO法人日本ビーチ文化振興協会
編集人/朝日健太郎
〒104-0033 東京都中央区新川1-1-7 リーサイド茅場町3階
電話 03-3552-1171

編集スタッフ/吉田亜衣 (BeachvolleyBallStyle)
デザイン/島内泰弘デザイン室

INDEX

- 1面 特別対談:川田順一×朝日健太郎 スポーツと企業の「価値と意義」
- 2-3面 新連載:「New Sports Power」 新連載:Beach Athlete Interview 連載:朝日健太郎が自利きする砂ソムリエ 連載:おらが街のビーチ自慢
- 4面 特集:「海の京都」にビーチイベント初上陸! ビーチスポーツフェスティバルの京丹後 連載:健's BAR ~ビーチ文化の街に乾杯~ 連載:ビーチ文化のはじまり 編集後記:はだしの足跡

「価値と意義」

スポーツと企業の

製品を供給している中で、徹底した安全管理が求められます。そのためには社員同士のチームワークが必要で、スポーツから伝わるチームプレーから組織力を感してほしいんです。昨年、はだしの吉田亜沙美さんがケガをして戦線離脱しましたが、ケガをチームの結束力で優勝することができました。どんなときでもくじけずに組織力で逆境に挑む、という女子バスケトボール部の姿をぜひ社員の皆さんに見てもらいたいという目的があります。朝日 高度成長期後、企業スポーツは委縮期を迎えたと思いますが、現代でも企業がスポーツに求めるものは変わらませんか。川田 再編や合併を繰り返してきたこのご時世だからこそ、スポーツを通して社全体が一体感を持つて盛り上げるのは必要だと思います。朝日 私自身も企業スポーツに属していた立場、サントリー男子バレーボール部で、アスリートとしての視点からいえば、企業スポーツは企業の支援がないと成り立ちません。企業の再編によって、廃部が繰り返されているからこそ、アスリート自身が企業に何を求めているかが課題として挙げられます。川田 女子バスケトボール部では、選手たちが中心になって定期的にクリニックを行っています。そういった指導経験を引退した後のセカンドキャリアにもぜひ活かしてほしいですね。朝日 JX BEANSさんは、日本代表チームのメンバーとして知られていますよね。代表のユニフォームにも社名ロゴが入っていますが、支援する理由としては、グローバルな視点もあるのでしょうか。川田 バスケトボールは国内で63万人と多くの競技人口を誇るスポーツです。ここからさらなる発展を目指すためには、やはり世界で勝つことが重要。我々

朝日 健太郎 Kenjiro Asahi

「世界で勝つ」と日本国民は、必ず大きな反応を示すもの

は海外希望者がいれば、どんどんブレインリーしてほしいというスタンスをとっています。朝日 世界を知る、そのお言葉借りると、私が提唱しているビーチスポーツの国際大会もたくさんあります。皆さんに知っていただきたいと考えています。昨年、アジアリーグで行われたアジアビーチゲームズでは、ビーチバスケトボールという種目もあつたんですよ。川田 ビーチでバスケトボールですか? それはどんな競技だったんですか? 朝日 砂のビーチボールをつくるのではなく、ビーチをアスファルトの駐車場で行う3×3でした。今後ビーチスポーツの発展に向けてアドバイスをお願いします。川田 スポーツで大事なのは、「やってみて楽しい、見ていて感動する」という気持ちです。ぜひ、「ビーチスポーツに挑戦してみよう」という気持ちで、皆さんの皆さんに体験してもらいたいですね。体験して楽しんでもらうことが、一番の普及につながると思います。



200人が参加したビーチフラッグス



130人が参加したビーチ相撲



地元・網野高の生徒と一緒に楽しむ浅尾さん

「海の京都」にビーチイベント 初上陸!

ビーチスポーツフェスティバル in 京丹後



盛り上がりを見せた浅尾さんと朝日健太郎氏のトークショー

ビーチスポーツの祭典である「ビーチスポーツフェスティバル」が京丹後で2015年7月19日(日)、京都府京丹後市の夕日ヶ浦海岸で開催された。京都初上陸となったイベントは当初18日(土)から2日間の開催予定であったが、台風の影響により中止、急きよ1日のみ開催となった。地元産物が結集した「HAWAII」ブランドも盛り上がり、周辺動員数4000人を記録した。オープニングセレモニーでは、京都府の山田啓二知事と京丹後市の中山泰市長が登壇、海辺の活性化の起爆剤として「ビーチスポーツの国際大会」アジアビーチゲームズの招致に向けて意気込みを語った。オープニングセレモニーでは、京都府の山田啓二知事と京丹後市の中山泰市長が登壇、海辺の活性化の起爆剤として「ビーチスポーツの国際大会」アジアビーチゲームズの招致に向けて意気込みを語った。

ビーチ文化のはじまり vol.3

最終回 原点

大村哲夫 Tetsuo Omura
NPO法人日本ビーチ文化振興協会会長

本ビーチ文化振興協会を立ち上げて12年、海辺の活用方法を提唱し、海辺で遊ぶことをモットーに全国各地で「ビーチライフ」を開催してきました。その理念は決して間違っていないと感じてきたのは、ビーチスポーツの祭典である「アジアビーチゲームズ」(2014年タイプーケット)を視察に訪れたときでした。

健's BAR

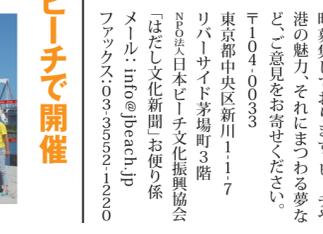
はだし文化推進啓発事業

プロント茅場町店 (東京都中央区日本橋茅場町1-11-2F 2F) 11月22日(火) 19:00

初回 4,000円 (年間カードナード費2000円+飲食代)
2回目から 3,500円 (飲み放題+軽食付き)

ゲスト 山本隆弘さん (元レーボール元日本代表)

「杉並っ子! はだし運動会」お台場ビーチで開催



親子そろって笑顔が広がった

国際大会という各競技のトップアスリートが集って一番を競う場というイメージがありますが、この大会は競技レベル関係なく、海辺でどんなことができるのか? がコンセプト。遊びの延長として各競技が考えられており、まさにその遊びの延長にスポーツがあり、肩肘張らずに楽しむ。体育館の競技と違ってビーチだと通るものもなく、開放感を味わいながら気軽に楽しむことができるのです。

「あなたの街のビーチか?」 「はだし文化新聞」では、皆様の街のビーチや港の情報を随時募集しております。ビーチや港の魅力、それにつながる夢など、ご意見を寄せてください。〒104-0033 東京都中央区新川1-1-7 リーサイド茅場町3階 NPO法人日本ビーチ文化振興協会 「はだし文化新聞」お問い合わせ メール: info@beach.jp ファックス: 03-3552-1220

はだし 足跡

朝日健太郎

今年もお台場に始まり、京丹後市での海の京都博では新しい取り組みも行われ、2015年度ビーチ文化発信活動もほぼ終了しました。今後、全国のビーチデザインが大きく変化していくことで、スポーツの可能性を存分に発揮できる空間がビーチでもあります。巻頭対談では、「Xホールディングス」川田副社長にお話し頂き、スポーツと社会の関わりの変遷を伺いました。オールのLAMPを合言葉に、我々も様々な取り組みに挑戦していきます。夏は終わりましたが、ビーチシーズンは一年中続きます。

大阪府宮 二色の浜公園 ビーチ&パークラン2015

2015年11月10日(火) ※FAX申し込みは11月20日まで

会場: 大阪府宮 二色の浜公園 (大阪府貝塚市津859-1)

申込締切日: 2015年11月10日(火) ※FAX申し込みは11月20日まで

参加費: スポーツタオル

表彰: 各種目1~3位(親子以外は男女別)、表彰賞 (豪華特産品多数)

種目	参加人数	スタート	競走時間	少子費	賞金
2km キッズ	小学3~6年生まで	10:30	60分	300円	100名
2km 親子	子供は小学2年生まで	10:30	60分	1,000円	100組
5km 中学生	中学生	11:20	60分	500円	
5km 高校生	高校生	11:20	60分	1,500円	400名
5km 一般	一般	11:20	60分	3,000円	
10km 高校生	高校生	12:10	90分	1,500円	400名
10km 一般	一般	12:10	90分	3,000円	

https://www.jbeach.jp/kaizuka_beachrun

日本初のビーチ&パークラン! 砂浜と公園の山を駆け抜けよう!

雨天決行 / 開会式 10:00 スタート

申し込みは「RUNNET」「SPORTS ENTRY」またはFAX(03-3552-1220)から。

主催: 貝塚二色の浜ビーチ&パークラン実行委員会 / 後援: 国土交通省近畿地方整備局、大阪府 / 協賛: 大阪信用金庫、貝塚商工会議所、貝塚市商店連合会、貝塚市郵便局、(株)明治、バナソニック(株)、国華園、虹の湯二色の浜店 / 協賛・協力: 貝塚商工会議所青年部 / 協力: 防衛省自衛隊大阪地方協力本部、貝塚青年会議所、NPO法人ドールズ、(一社)日本競輪選手会大阪支部 問い合わせ: NPO法人日本ビーチ文化振興協会 TEL 03-3552-1171

元ビーチバレーボール日本代表 朝日健太郎も参加!

全日本ライフセービング選手権大会通算21回優勝 遊佐雅美も参加!

料金の問い合わせは、電話 03-3552-1171

